



# 東高だより

2016 No.19

〒984-0832  
仙台市若林区下飯田字高野東70番地  
Tel 022-289-4140 Fax 022-289-4383  
<http://higasi-h.myswan.ne.jp/>

平成 28 年 11 月 8 日 (火)、今年度の芸術鑑賞会が開催されました。今回は、古典芸能で、落語を中心としたプログラムとなりました。一人目は雷門小助六さんの落語「初天神」、二人目は林家二楽さんの紙切り、三人目は柳亭楽輔さんの落語「まんじゅうこわい」でした。休憩の後に、桂小南治さんと林家二楽さんで「紙工劇落語」を演じてくれました。

**古典芸能…『紙工劇落語』**

兄・桂小南治と弟・林家二楽が共演する、落語と紙切りのコラボレーション。

兄弟ならではの絶妙な掛け合いで、兄の落語に弟が紙切りでその世界を映像化する。スクリーンに投影された紙切りの映像が、落語の話のイメージを膨らませる。

落語が初めての生徒にとっても、落語の噺の世界に親しみをもって鑑賞できる作品でした。

## 【生徒感想文】



「落語という言葉は聞いたことがあったけれど、落語自体は初めて聞きました。落語家の方は、表現力がとても上手でその情景が浮かんでとても楽しむことができました。私は『初天神』の父と子どもとの会話がおもしろく印象に残っています。」(1年男子)

「落語はラジオで聞いたことがありましたが、実際に見る方が、落語家の動きも加わり良かったです。これを機に、落語の歴史はどのようなものなのか、他にはどのような噺があるのか、などの興味が湧きました。機会があれば、落語を見にいきたいと思います。」(2年男子)

「私は、落語を今回初めて聞きました。扇子と手拭いの二つで噺の中に出てくる物を表現することにとっても驚きました。落語は、奥の深い話と身振りや手振りなどのしぐさで、私たちを笑わせてくれて素晴らしいものなのだということが分かりました。この2時間は、初めての経験をし、多くのことが学べて、たくさん笑って楽しい時間でした。」(2年女子)

「私は、初めて落語を生で見ました。落語は、全然聞いたこともなく、興味が湧いたこともあまりありませんでした。ですが、この芸術鑑賞会で落語を聞いて、印象が変わりました。紙切りもすごいと感じました。紙を切って物の形にするだけでも難しいのに、話ながら作るのは大変だろうなと思いました。」(1年女子)